

śrī rudrapraśnaḥ
camakam

シリー ルッドラップラシナハ
ジリー ルドラプラシナハ
チャマカム

om agnāviṣṇū sajoṣasemā-vārdhantu vām girāḥ ।

オーム アグナーヴィシヌー サヂョーシャセーマー ヴァルダントウ ヴァーム ギラハ

オーム アグナーヴィシヌー サヂョーシャセーマー

ヴァルダントウ ヴァーム ギラハ |

おお、アグニ神とヴィシヌ神(アグナーヴィシヌー)よ！これらの私の言葉(ギラハ)が御二方(ヴァーム)の光輝を強め(ヴァルダントウ)て、御二方がお喜びになりますように(サヂョーシャサー:両者が喜ぶ)。

dyumnair-vājebhir-āgātam ।

デュムナイル ヴァーチェービラーガタム

ドュムナイル ヴァーチェービラーガタム |

どうぞ、光輝(デュムナイヒ)と豊穰を携えて(ヴァーチェービル)お越し(アーガタム)ください。

vājaś-ca me prasavaś-ca me

ヴァーチャシ チャ メー プラサヴァシ チャ メー

ヴァーチャシ チャ メー プラサヴァシ チャ メー

どうか私に、あらゆる種類の資源(ヴァーチャシ:食物)を豊かにお与えください。これらを分かち合うこと(プラサヴァシ)を許可してください。

prayatiś-ca me prasitiś-ca me

プラヤティシ チャ メー プラスイティシ チャ メー

プラヤティシ チャ メー プラスイティシ チャ メー

努力(プラヤティシ)と食欲(プラスイティシ)をお授けください。

dhītiś-ca me kratuś-ca me

ディーティシ チャ メー クラトウシ チャ メー

ディーティシ チャ メー クラトウシ チャ メー

消化力(ディーティシ)、ならびに食物を確保するための行為(クラトウシ:ヤグニヤ)をお授けください。

svaraś-ca me ślokaś-ca me

スワラシ チャ メー シローカシ チャ メー

スヴァラシ チャ メー シローカシ チャ メー

正しい抑揚でマントラを唱える能力(スワラシ)と、マントラの知識(シローカシ)をお授けください。

śrāvaś-ca me śrutiś-ca me

シラーヴァシ チャ メー シルティシ チャ メー

シラーヴァシ チャ メー シルティシ チャ メー

よい声(シラーヴァシ:「マントラを正しく唱える能力の意味」もある)と聞く力(シルティシ)、特にヴェーダのマントラを聞く力をお授けください。

jyotiś-ca me suvaś-ca me

ヂョーティシ チャ メー スヴァシ チャ メー

ヂョーティシ チャ メー スヴァシ チャ メー

私が光明(ヂョーティシ)に照らされて、神々の世界とその光(スヴァシ:神々とのコミュニケーション)に到達できるようにしてください。

prāṇaś-ca me pānaś-ca me

プラーナシ チャ メー パーナシ チャ メー

プラーナシ チャ メー 'パーナシ チャ メー

私の中で、プラーナ(プラーナシ:吸気。生氣)とアパーナ(アパーナシ:呼気。食物の残渣や、悪い思い、否定性などの排泄作用)、

vyānaś-ca me suś-ca me

ヴィヤーナシ チャ メー スシ チャ メー

ヴィヤーナシ チャ メー 'スシ チャ メー

ヴィヤーナ(ヴィヤーナシ:体内の血液や養分の循環作用)が正しく働いて、生命(アスシ)が営まれるようにしてください。

cittaṁ ca ma ādhitaṁ ca me

チッタム チャ マ アーディータム チャ メー

チ(ト)タム チャ マ アーディータム チャ メー

どうか私に、正しい意識(チッタム)と学習(アーディータム)をお授けください。

vāk-ca me manaś-ca me

ヴァーク チャ メー マナシ チャ メー

ヴァーク チャ メー マナシ チャ メー

正しいことを雄弁に語る力(ヴァーク)と、健全な心(マナシ)をお授けください。

caṅśuś-ca me śrotraṁ ca me

チャクシュシ チャ メー シロートラム チャ メー

チャクシュシ チャ メー シロートラム チャ メー

正しく見る力(チャクシュシ:眼)と、正しく聞く力(シロートラム:耳)をお授けください。

dakṣāś-ca me balaṁ ca ma

ダクシャシ チャ メー バラム チャ マ

ダクシャシ チャ メー バラム チャ マ

よく働くすべての感覚器官(ダクシャシ)と、肉体的・精神的・感情的・霊的な、すべての次元の力(バラム)をお授けください。

ojaś-ca me sahaś-ca ma

オーチャシ チャ メー サハシ チャ マ

オーチャシ チャ メー サハシ チャ マ

敵や障害物(サハシ)を克服する活力と強さ(オーチャシ)をお授けください。

āyus-ca me jarā ca ma

アーユシ チャ メー チャラー チャ マ

アーユシ チャ メー チャラー チャ マ

私を元気に長生き(アーユシ)させ、尊厳に満ちた老熟の境涯(チャラー)を私にお授けください。

ātmā ca me tanūs-ca me

アートマー チャ メー タヌーシ チャ メー

アートマー チャ メー タヌーシ チャ メー

真我(アートマー)の知識と、丈夫でよく動く身体(タヌーシ)をお授けください。

śarmā ca me varmā ca me

シャルマ チャ メー ヴアルマ チャ メー

シャルマ チャ メー ヴアルマ チャ メー

幸せ(シャルマ)と安全(ヴァルマ)をお授けください。

'ṅgāni ca me 'sthāni ca me

ンガーニ チャ メー スターニ チャ メー

'ンガーニ チャ メー 'スターニ チャ メー

丈夫な手足と臓器(アンガーニ)、健康な骨(アスターニ)をお授けください。

parūgmṣi ca me śarīrāṇi ca me || 1 ||

パルーグムシ チャ メー シャリーラーニ チャ メー

パルーグムシ チャ メー シャリーラーニ チャ メー || 1 ||

健康な関節(パルーグムシー)と、崇高でより微細な身体(シャリーラーニ)の自覚をお授けください。

jyaiṣṭhyaṁ ca ma ādhipatyam ca me

ヂヤイシッティヤム チャ マ アーディパッティヤム チャ メー

ヂヤイシトヤム チャ マ アーディパトヤム チャ メー

どうぞ私に、より高い地位(ヂヤイシッティヤム)と、指導者としての特性と機会(アーディパッティヤム)をお授けください。

manyuś-ca me bhāmaś-ca me

マンニユシ チャ メー バーマシ チャ メー

マンユシ チャ メー バーマシ チャ メー

公正な怒り(マンニユシ)と、正義の怒りの妥当な表現(バーマシ)をお授けください。
注: 怒りでも、善い行いを促進し、内外の障害物と戦うことを助ける怒りは、前向きの怒りです。

'maś-ca me'mbhaś-ca me

マシ チャ メー アンバシ チャ メー

'マシ チャ メー 'ムバシ チャ メー

強さと測り知れぬ深さ(アマシ)と、怒りを直ちに静める能力(アンバシ: 冷たい飲み水)をお授けください。

jemā ca me mahimā ca me

ジェーマー チャ メー マヒマー チャ メー

ジェーマー チャ メー マヒマー チャ メー

勝利(ジェーマー)を収める力と、栄光すなわち名声(マヒマー)をお授けください。

varimā ca me prathimā ca me

ヴァリマー チャ メー プラティマー チャ メー

ヴァリマー チャ メー プラティマー チャ メー

他者から評価・称賛される能力(ヴァリマー)と、広がり達成(プラティマー)をお授けください。

varṣmā ca me drāghuyā ca me

ヴァルシマー チャ メー ドラークヤー チャ メー

ヴァルシマー チャ メー ドラークヤー チャ メー

立派な子孫(ヴァルシマー)と、絶えることなく続く血族(ドラークヤー)をお授けください。

vṛddham̐ ca me vṛddhīś-ca me

ヴルッダム チャ メー ヴルッディシ チャ メー

ヴル(ド)ダム チャ メー ヴル(ド)ディシ チャ メー

成長(ヴルッダム)と、成長の能力(ヴルッディシ)をお授けください。

satyam̐ ca me śraddhā ca me

サッティヤム チャ メー シラッダー チャ メー

サトヤム チャ メー シラ(ド)ダー チャ メー

真実(サッティヤム)と信仰(シラッダー)をお授けください。

jagac-ca me dhanam̐ ca me

ジャガッ チャ メー ダナム チャ メー

ジャガ(チ) チャ メー ダナム チャ メー

また私が、全宇宙(ジャガッ)を自分自身と見なし、物心両面の富(ダナム)を授かりますように。

vaśāś-ca me tviṣīś-ca me

ヴァシャシ チャ メー トウイシシ チャ メー

ヴァシャシ チャ メー トヴィシシ チャ メー

個人的な魅力(ヴァシャシ)と、内外両面の輝き(トウイシシ)を備えることができますように。

krīḍā ca me modāś-ca me

クリーダー チャ メー モーダシ チャ メー

クリーダー チャ メー モーダシ チャ メー

運動(クリーダー)やゲームの能力を持って、それを楽しむ(モーダシ:喜び)ことができますように。

jātam̐ ca me janiṣyamānam̐ ca me

ジャータム チャ メー ジャニッシヤマーナム チャ メー

ジャータム チャ メー ジャニシヤマーナム チャ メー

先祖から受け継いだもの(ジャータム:すでに生まれたもの)が私に留まり、今生で獲得するもの(ジャニッシヤマーナム:これから生まれるもの)が守られますように。

sūktam̐ ca me sukṛtam̐ ca me

スークタム チャ メー スクルタム チャ メー

スークタム チャ メー スクルタム チャ メー

私がヴェーダの聖句(スークタム)を唱える能力に恵まれ、神聖な儀式や善行(スクルタム)を行うことによって、聖なる美德を積むことができますように。

vittam ca me vedyam ca me

ヴィッタム チャ メー ヴェーディヤム チャ メー

ヴィ(ト)タム チャ メー ヴェードヤム チャ メー

どうか私に世俗の知識や富(ヴィッタム)と、知るべき真我の知識(ヴェーディヤム)をお授けください。

bhutam ca me bhavishyac-ca me

ブータム チャ メー バヴィシヤツ チャ メー

ブータム チャ メー バヴィシヤ(チ) チャ メー

sugam ca me supatham ca ma

スガム チャ メー スパタム チャ マ

スガム チャ メー スパタム チャ マ

私が過去(ブータム)から学び、許し、忘れることができますように。また私に、現在の吉祥なる行いと吉祥なる目標(スガム)を通じて、明るい未来(バヴィシヤツチ)を築く能力をお授けください。私が(神実現に向けて)この世でたどる道が滑らか(スパタム)でありますように。

rddham ca ma rddhis-ca me

ルッタム チャ マ ルッディシ チャ メー

ル(ド)ダム チャ マ ル(ド)ディシ チャ メー

裕福(ルッタム)で、あらゆる方面における進歩(ルッディシ)に恵まれますように。

klptam ca me klptis-ca me

クルプタム チャ メー クルプティシ チャ メー

クルプタム チャ メー クルプティシ チャ メー

蓄える能力(クルプタム)と、蓄えたものを正しく使う能力(クルプティシ)を授かりますように。

matish-ca me sumatish-ca me || 2 ||

マティシ チャ メー スマティシ チャ メー

マティシ チャ メー スマティシ チャ メー || 2 ||

思考能力(マティシ)と、バランスのとれた知性による正しい思考能力(スマティシ)に恵まれますように。

sam ca me mayas-ca me

シャム チャ メー マヤシ チャ メー

シャム チャ メー マヤシ チャ メー

この世の幸福(シャム)と、見えない世界の至福(マヤシ)に恵まれますように。

priyaṁ ca me'nukāmaś-ca me

プリヤム チャ メー ヌカーマシ チャ メー

プリヤム チャ メー 'ヌカーマシ チャ メー

喜び(プリヤム:愛し愛されること)と、必要なもの(アヌカーマシ)を欲する気持ちに恵まれますように。

kāmaśca me saumaṇasaś-ca me

カーマシチャ メー サウマナサシ チャ メー

カーマシチャ メー サウマナサシ チャ メー

願望(カーマシ)と善い関係(サウマナサシ)に恵まれますように。

bhādraṁ ca me śreyaś-ca me

バッドラム チャ メー シレーヤシ チャ メー

バッドラム チャ メー シレーヤシ チャ メー

吉祥(バッドラム)と霊的な幸福(シレーヤシ)に恵まれますように。

vasyaś-ca me yaśaś-ca me

ヴァッスヤシ チャ メー ヤシャシ チャ メー

ヴァッスヤシ チャ メー ヤシャシ チャ メー

どうぞ私に、心地よい住居(ヴァッスヤシ)と、名声(ヤシャシ)をお授けください。

bhagaś-ca me draviṇaṁ ca me

バガシ チャ メー ドラヴィナム チャ メー

バガシ チャ メー ドラヴィナム チャ メー

楽しみ(バガシ:神聖な性質)と富(ドラヴィナム)をお授けください。

yaṅtā ca me dhartā ca me

ヤンター チャ メー ダルター チャ メー

ヤンター チャ メー ダルター チャ メー

私が、師(ヤンター)の導きと、支持者(ダルター)に恵まれますように。

kṣemaś-ca me dhṛtiś-ca me

クシエーマシ チャ メー ドゥルティシ チャ メー

クシエーマシ チャ メー ドゥルティシ チャ メー

保護する力(クシエーマシ)と不屈の精神(ドゥルティシ)に恵まれますように。

viśvaṁ ca me mahāś-ca me

ヴィッシワム チャ メー マハシ チャ メー

ヴィッシワム チャ メー マハシ チャ メー

普遍的な物の見方(ヴィッシワム)と、偉大さ(マハシ)に恵まれますように。

saṁvic-cā me jñātrāṁ ca me

サムヴィッチャ メー グニャートラム チャ メー

サムヴィ(チ)チャ メー デナートラム チャ メー

ヴェーダや聖典の知識(サムヴィッチ)と、生まれつきの教える力(グニャートラム)に恵まれますように。

sūs-cā me prasūs-cā me

スーシ チャ メー プラスーシ チャ メー

スーシ チャ メー プラスーシ チャ メー

どうか私にインスピレーション(スーシ)と、他者にインスピレーションを与える力(プラスーシ)をお授けください。

sīrāṁ ca me layās-cā ma

スィーラム チャ メー ラヤシ チャ マ

スィーラム チャ メー ラヤシ チャ マ

隠れた真理を掘り起こし(スィーラム: 鋤[すき]: 「隠れた物を掘り出す能力」の象徴)、隠れていた真理とひとつになる能力(ラヤシ)をお授けください。

ṛtaṁ ca me 'mṛtaṁ ca me

ルタム チャ メー ムルタム チャ メー

ルタム チャ メー 'ムルタム チャ メー

また私が、正しい行為(ルタム)を行うことができ、不滅の命(アムルタム)を授かりますように。

'yakṣmaṁ ca me 'nāmayac-ca me

ヤクシマム チャ メー ナーマヤッチャ メー

'ヤクシマム チャ メー 'ナーマヤ(チ) チャ メー

無病息災(アヤクシマム)に恵まれ、消化作用が衰えることはありません(アナーマヤッチ)ように。

jīvātūś-ca me dīrghāyutvaṁ ca me

ヂーヴァートウシ チャ メー ディールガーユットワム チャ メー

ヂーヴァートウシ チャ メー ディールガーユットヴァム チャ メー

薬と医師(ヂーヴァートウシ)と長寿(ディールガーユットワム)に恵まれますように。

'namitraṁ ca me 'bhayaṁ ca me

ナミットラム チャ メー バヤム チャ メー

'ナミットラム チャ メー 'バヤム チャ メー

敵を作らず(アナミットラム)、何ものをも恐れることがない(アバヤム)ようにしてください。

sugam̄ ca me śayanam̄ ca me

スガム チャ メー シャヤナム チャ メー

スガム チャ メー シャヤナム チャ メー

万人に認められる正しい行い(スガム)と、深い眠り(シャヤナム)に恵まれますように。

sūṣā ca me sudinam̄ ca me || 3 ||

スーシャー チャ メー スディナム チャ メー

スーシャー チャ メー スディナム チャ メー || 3 ||

よい朝と(スーシャー) 吉祥の日(スディナム)に恵まれますように。

ūrka ca me sūnṛtā ca me

ウールクチャ メー スーヌルター チャ メー

ウールクチャ メー スーヌルター チャ メー

おお、神様、私が豊かな食物(ウールクチャ)と、心地よい言葉と暖かいもてなし(スーヌルター)に恵まれますように。

payāś-ca me rasāś-ca me

パヤシ チャ メー ラサシ チャ メー

パヤシ チャ メー ラサシ チャ メー

知識のミルク(パヤシ:ミルクをベースとした飲み物)と、知識と存在の本質(ラサシ:ジュース)に恵まれますように。

ghṛtam̄ ca me madhu ca me

グルタム チャ メー マドゥ チャ メー

グルタム チャ メー マドゥ チャ メー

精神の明晰さ(グルタム:ギー[澄ましバター])と、至福(マドゥ:ハチミツ)に恵まれますように。

sagdhīś-ca me sapītiś-ca me

サグディシ チャ メー サピーティシ チャ メー

サグディシ チャ メー サピーティシ チャ メー

善き仲間と共に食事(サグディシ)をし、飲み物を飲む(サピーティシ)幸運に恵まれますように。

kr̥ṣīś-ca me vṛṣṭīś-ca me

クルシシ チャ メー ヴルシティシ チャ メー

クルシシ チャ メー ヴルシティシ チャ メー

農業(クルシシ)の営みがうまくゆき、よい時期に十分な雨(ヴルシティシ)に恵まれますように。

jaitraṁ ca ma audbhidyāṁ ca me

チャイトラム チャ マ アウ(ド)ビッディヤム チャ メー

チャイトラム チャ マ アウドビドヤム チャ メー

肥沃な土地に緑の木や植物が茂り(チャイトラム:成功)、高揚する思い(アウドビッディヤム:成就)に恵まれますように。

rayiś-ca me rāyaś-ca me

ライシ チャ メー ラーヤシ チャ メー

ライシ チャ メー ラーヤシ チャ メー

黄金(ライシ)や宝石(ラーヤシ)を手に入れることができますように。

puṣṭam ca me puṣṭiś-ca me

プシタム チャ メー プシテイシ チャ メー

プシタム チャ メー プシテイシ チャ メー

丈夫(プシタム)で栄養の行き届いた(プシテイシ)身体を持つことができますように。

vibhu ca me prabhu ca me

ヴィブ チャ メー プラブ チャ メー

ヴィブ チャ メー プラブ チャ メー

あらゆる種類の(ヴィブ)、豊富な(プラブ)

bahu ca me bhūyaś-ca me

バフ チャ メー ブーヤシ チャ メー

バフ チャ メー ブーヤシ チャ メー

穀物(バフ)や農作物(ブーヤシ)に恵まれますように。

pūrṇam ca me pūrṇatāraṁ ca me

プールナム チャ メー プールナタラム チャ メー

プールナム チャ メー プールナタラム チャ メー

農業と私の人間性の両面において、完全さ(プールナム)に恵まれ、完全さを越えたレベル(プールナタラム)にまで到達できますように。

'kṣitiś-ca me kūyavāś-ca me

クシテイ チャ メー クーヤヴァーシ チャ メー

'クシテイシ チャ メー クーヤヴァーシ チャ メー

蓄えが減ることがなく(アックシテイシ)、小さな粒の雑穀(クーヤヴァーシ)に恵まれますように。

'nnāṁ ca me'kṣuc-ca me

ンナム チャ メー クシュツ チャ メー

'ンナム チャ メー 'クシユ(子) チャ メー

食物(アンナム)に恵まれて、決して空腹になることはありません(アックシュツチ)ように。

vṛihayāś-ca me yavāś-ca me

ヴリーハヤシ チャ メー ヤヴァーシ チャ メー

ヴリーハヤシ チャ メー ヤヴァーシ チャ メー

あらゆる種類の米(ヴリーハヤシ)と大麦(ヤヴァーシ)に恵まれますように。

māṣāś-ca me tilāś-ca me

マーシャーシ チャ メー ティラーシ チャ メー

マーシャーシ チャ メー ティラーシ チャ メー

ケツルアズキ(マーシャーシ)とゴマ(ティラーシ)に恵まれますように。

mudgāś-ca me khalvāś-ca me

ムドガーシ チャ メー カルヴァーシ チャ メー

ムドガーシ チャ メー カルヴァーシ チャ メー

緑豆(ムドガーシ)とヒマ種子(カルヴァーシ)に恵まれますように。

godhūmāś-ca me maśurāś-ca me

ゴドゥーマーシ チャ メー マスラーシ チャ メー

ゴドゥーマーシ チャ メー マスラーシ チャ メー

小麦(ゴドゥーマーシ)とヒヨコマメ(マスラーシ)に恵まれますように。

priyangavaś-ca me'ṇavaś-ca me

プリヤンガヴァシ チャ メー ナヴァシ チャ メー

プリヤンガヴァシ チャ メー ナヴァシ チャ メー

粒の長いアワ(プリヤンガヴァシ)と良種のイネ(アナヴァシ)に恵まれますように。

śyāmākāś-ca me nīvārāś-ca me || 4 ||

シャーマーカーシ チャ メー ニーヴァーラーシ チャ メー

シャーマーカーシ チャ メー ニーヴァーラーシ チャ メー || 4 ||

ヒエ(シャーマーカーシ)と野生の穀類(ニーヴァーラーシ)に恵まれますように。

aśmā ca me mṛttikā ca me

アシマー チャ メー ムルッティカー チャ メー

アジマー チャ メー ムル(ト)ティカー チャ メー

どうか私が、貴重な鉱石(アシマー)と粘土(ムルッティカー)がある土地に恵まれますように。

girayāś-ca me parvatāś-ca me

ギラヤシ チャ メー パルヴァターシ チャ メー

ギラヤシ チャ メー パルヴァターシ チャ メー

高い丘陵(ギラヤシ)と、多くの河川を生む大きな山々(パルヴァターシ)がある土地に恵まれますように。

sikatāś-ca me vanaspatayāś-ca me

シカターシ チャ メー ヴァナスパタヤシ チャ メー

シカターシ チャ メー ヴァナスパタヤシ チャ メー

砂(シカターシ)と、果物が実る木々(ヴァナスパタヤシ)がある土地に恵まれますように。

hiraṇyam ca me'yaś-ca me

ヒランニヤム チャ メー ヤシ チャ メー

ヒランニヤム チャ メー 'ヤシ チャ メー

また私の土地に、金(ヒランニヤム)や鉄(アヤシ)が豊かにありますように。

sīsam ca me trapuś-ca me

スィーサム チャ メー トラプシ チャ メー

スィーサム チャ メー トラプシ チャ メー

鉛(スィーサム)や錫(トラプシ)が豊かにありますように。

śyāmaṁ ca me lohaṁ ca me

シヤーマム チャ メー ローハム チャ メー

シヤーマム チャ メー ローハム チャ メー

鋼鉄(シヤーマム)や青銅、銅(ローハム)が豊かにありますように。

'gniś-ca ma āpaś-ca me

グニシ チャ マ アーパシ チャ メー

'グニシ チャ マ アーパシ チャ メー

火(アグニシ:意志力)と水(アーパシ:エネルギー)が豊かにありますように。

vīrudhāś-ca ma oṣadhayaś-ca me

ヴィールダシ チャ マ オーシャダヤシ チャ メー

ヴィールダシ チャ マ オーシャダヤシ チャ メー

蔓(つる)植物(ヴィールダシ)と薬草(オーシャダヤシ)が豊かに茂りますように。

kr̥ṣṭa-pacyaṁ ca me'kr̥ṣṭa-pacyaṁ ca me

クルシタ パッチヤム チャ メー クルシタ パッチヤム チャ メー

クルシタ パッチヤム チャ メー 'クルシタ パッチヤム チャ メー

耕した土地(クルシタ パッチヤム)に育つものと、耕していない土地(アクルシタ パッチヤム)に育つものが豊かに茂りますように。

grāmyās-ca me paśava āraṇyās-ca yajñena kalpantām

グラーンミヤシ チャ メー パシャヴァ アーランニヤシ チャ

ヤグニューナ カルパンターム

グラームヤシ チャ メー パシャヴァ アーランヤシ チャ

ヤグネーナ カルパンターム

私が家畜(グラーンミヤシ パシャヴァ:村にいる動物たち)や野獣(アーランニヤシ パシャヴァ:森の中の動物たち)に恵まれて、これらすべてが、私のヤグニヤ(ヤグニューナ:供儀)によって調和を保ちますように。

vittam ca me vittīś-ca me

ヴィッタム チャ メー ヴィッティシ チャ メー

ヴィ(ト)タム チャ メー ヴィ(ト)ティシ チャ メー

私が先祖の財産(ヴィッタム)に、自分の稼ぎ(ヴィッティシ)を付け加える能力に恵まれますように。

bhūtam ca me bhūtīś-ca me

ブータム チャ メー ブーティシ チャ メー

ブータム チャ メー ブーティシ チャ メー

物心両面の功績(ブータム)と、そうした功績を得るための手立て(ブーティシ)に恵まれますように。

vasu ca me vaśatīś-ca me

ヴァス チャ メー ヴァサティシ チャ メー

ヴァス チャ メー ヴァサティシ チャ メー

富(ヴァス)と快適な住まい(ヴァサティシ)に恵まれますように。

karmá ca me śaktiś-ca me

カルマ チャ メー シャクティシ チャ メー

カルマ チャ メー シャクティシ チャ メー

神聖な儀式(カルマ)を行う決断力と、そのような神聖な行為を行うためのエネルギー(ジャクティシ:力)に恵まれますように。

'rthás-ca mā emás-ca mā

アルタシ チャ マ エーマシ チャ マ

'ルタシ チャ マ エーマシ チャ マ

有意義な目的(アルタシ)意識と、満ち足りた気持ち(エーマシ)に恵まれますように。

itiś-ca me gatiś-ca me || 5 ||

イティシ チャ メー ガティシ チャ メー

イティシ チャ メー ガティシ チャ メー || 5 ||

道(イティシ)に恵まれ、最終目的地への到達に向けて進む(ガティシ)ことができますように。

agniś-ca mā indrás-ca me

アグニシ チャ マ インドラシ チャ メー

アグニシ チャ マ インドラシ チャ メー

火と意志力の神アグニ(アグニ)と、神の心の主であるインドラ神(インドラ)が、私に恩寵を注いでくださいますように。

アグニ:火、熱(血液の循環を経て全身、肉体的な器官:耳、皮膚、目、舌、鼻)。

somás-ca mā indrás-ca me

ソーマシ チャ マ インドラシ チャ メー

ソーマシ チャ マ インドラシ チャ メー

至福の神ソーマ(ソーマ)と、神の心の主であるインドラ神が、私に恩寵を注いでくださいますように。

ソーマ:作物を育てる神(喜び、内なる喜び)。

savitā ca mā indrás-ca me

サヴィター チャ マ インドラシ チャ メー

サヴィター チャ マ インドラシ チャ メー

最も尊敬されている創造主サヴィター(サヴィター)と、神の心の主であるインドラ神が、私に恩寵を注いでくださいますように。

サヴィター:太陽の放射(真我の光、識別力)

sarāsvatī ca ma indraś-ca me

サラッスワティー チャ マ インドラシ チャ メー

サラスヴァティー チャ マ インドラジ チャ メー

話し言葉と、学習とインスピレーションの女神サラスワティー(サラッスワティー)と、神の心の主であるインドラ神が、私に恩寵を注いでくださいますように。

サラスワティー:水の流れ、川(話し言葉)。

pūṣā ca ma indraś-ca me

プーシャー チャ マ インドラシ チャ メー

プーシャー チャ マ インドラジ チャ メー

光で照らして養い育てる神プーシャー(プーシャー)と、神の心の主であるインドラ神が、私に恩寵を注いでくださいますように。

プーシャー:植物における光合成(太陽光を利用してビタミンDを生成する皮膚)。

bṛhaspatīś-ca ma indraś-ca me

ブルハスパティシ チャ マ インドラシ チャ メー

ブルハスパティジ チャ マ インドラジ チャ メー

神の教師であり、広大で膨張するあらゆるものたちの神ブリハスパティ(ブルハスパティ)と、神の心の主であるインドラ神が、私に恩寵を注いでくださいますように。

ブリハスパティ:司祭、教師(生まれ持った教える力)。

mitraś-ca ma indraś-ca me

ミトラシ チャ マ インドラシ チャ メー

ミトラジ チャ マ インドラジ チャ メー

光、すなわち理解の神ミトラ(ミトラ)と、神の心の主であるインドラ神が、私に恩寵を注いでくださいますように。

ミトラ:明るさ(心「マナス」、ブッディ「理解における精神の明晰さ」)

varuṇaś-ca ma indraś-ca me

ヴァルナシ チャ マ インドラシ チャ メー

ヴァルナジ チャ マ インドラジ チャ メー

知識の海の神ヴァルナ(ヴァルナ)と、神の心の主であるインドラ神が、私に恩寵を注いでくださいますように。

ヴァルナ:エーテル界の主(「可能性」を示す人体内の空間)。

tvaṣṭā ca ma indraś-ca me

トワシター チャ マ インドラシ チャ メー

トヴァシター チャ マ インドラシ チャ メー

ものごとを正しく見る神トウワシュター(トワシター)と、神の心の主であるインドラ神が、私に恩寵を注いでくださいますように。

トウワシュター: 聖なる建築家(遺伝に関わる DNA)

dhātā ca ma indraś-ca me

ダーター チャ マ インドラシ チャ メー

ダーター チャ マ インドラシ チャ メー

ものごとを正しく聴く神ダーター(ダーター)と、神の心の主であるインドラ神が、私に恩寵を注いでくださいますように。

ダーター: 様々な天体をそれぞれの場所に保つ神(骨)。

viṣṇuś-ca ma indraś-ca me

ヴィシヌシ チャ マ インドラシ チャ メー

ヴィシヌシ チャ マ インドラシ チャ メー

遍在の神ヴィシヌ(ヴィシヌ)と、神の心の主であるインドラ神が、私に恩寵を注いでくださいますように。

ヴィシヌ: 維持者(循環器系+神経系、手足)

'śvinau ca ma indraś-ca me

シウイナウ チャ マ インドラシ チャ メー

'シウイナウ チャ マ インドラシ チャ メー

聖なる医師である双子のアシュヴィン(アッシウインズ)と、神の心の主であるインドラ神が、私に恩寵を注いでくださいますように。

アシュヴィン: 神界で働く双子の医師(左右の鼻腔から出入りする呼吸; アパーナ気としての排泄機能)。

marutaś-ca ma indraś-ca me

マルタシ チャ マ インドラシ チャ メー

マルタシ チャ マ インドラシ チャ メー

精神の速さと機敏さの神であるマルタ(マルット)と、神の心の主であるインドラ神が、私に恩寵を注いでくださいますように。

マルタ: 空気の動き(肉体の中の様々な空気の動き; 触覚「スパルシャ」)

viśvé-ca me devā indraś-ca me

ヴィッシヴェー チャ メー デーヴァー インドラシ チャ メー

ヴィシヴェー チャ メー デーヴァー インドラシ チャ メー

すべての神々(ヴィッシヴェー デーヴァー)と、神の心の主であるインドラ神が、私に恩寵を注いでくださいますように。

ヴィシヴェー デーヴァー:すべての神々(ルーパ、すなわち姿。脳と記憶)。

pr̥thivī ca mā indraś-ca me

プルティヴィー チャ マ インドラシ チャ メー

プルティヴィー チャ マ インドラシ チャ メー

この世を象徴するこの地球(プルティヴィー)と、神の心の主であるインドラ神が、私に恩寵を注いでくださいますように。

プリティヴィー:個体、天体(ガンダすなわち匂い。筋肉、排泄器官)。

'ntarikṣam ca mā indraś-ca me

ンタリックシャム チャ マ インドラシ チャ メー

'ンタリクシャム チャ マ インドラシ チャ メー

中間の世界を象徴する空(アンタリックシャム)と、神の心の主であるインドラ神が、私に恩寵を注いでくださいますように。

アンタリクシャム:距離(広がる思い)

dyauś-ca mā indraś-ca me

ディヤウシ チャ マ インドラシ チャ メー

ドヤウシ チャ マ インドラシ チャ メー

天界(ディヤウシ)と、神の心の主であるインドラ神が、私に恩寵を注いでくださいますように。

ディヤウ:天界。放射する平面(夢)。

diśāś-ca mā indraś-ca me

ディシャシ チャ マ インドラシ チャ メー

ディジャシ チャ マ インドラシ チャ メー

すべての方角(ディシャシ)と、神の心の主であるインドラ神が、私に恩寵を注いでくださいますように。

ディシャ:四つの方向(音)

mūrdhā ca ma indraś-ca me

ムールダー チャ マ インドラシ チャ メー

ムールダー チャ マ インドラシ チャ メー

上方の世界(ムールダー)と、神の心の主であるインドラ神(インドラ)が、私に恩寵を注いでくださいますように。

ムールダー: 主要なもの(頭)。

prajāpatis-ca ma indraś-ca me || 6 ||

プラジャーパティシ チャ マ インドラシ チャ メー

プラジャーパティシ チャ マ インドラシ チャ メー || 6 ||

万物の支配者であるプラジャーパティ(プラジャーパティ)と、神の心の主であるインドラ神(インドラ)が、私に恩寵を注いでくださいますように。

プラジャーパティ: 任命された創造主(味。生殖器官)

(インドラは、神話の世界における天界の天使たちの王様というだけではありません。バガヴァン ババ様によれば、インドラ神は感覚の主です。ですからここで、インドラとは感覚の本当の主である内在の神を意味しています。このことは、この賛歌でインドラ神に与えられている重要性を説明しています。)

agmśuś-ca me raśmiś-ca me

アグムシュシ チャ メー ラシミシ チャ メー

アグムジュシ チャ メー ラシミシ チャ メー

'dābhyaś-ca me'dhipatis-ca ma

ダー=ビヤシ チャ メー デイパティシ チャ マ

'ダー=ビヤシ チャ メー 'デイパティシ チャ マ

upāgmsuś-ca me'ntaryāmaś-ca ma

ウパーグムシュシ チャ メー ンタルヤーマシ チャ マ

ウパーグムジュシ チャ メー 'ンタルヤーマシ チャ マ

aindravāya-vaś-ca me maitrā-varuṇaś-ca ma

アindraヴァーヤ ヴァシ チャ メー マイトラー ヴァルナシ チャ マ

アindraヴァーヤ ヴァシ チャ メー マイトラー ヴァルナシ チャ マ

āśvinaś-ca me prati-prasthānaś-ca me

アーシヴィナシ チャ メー プラティ プラスターナシ チャ メー

アーシヴィナシ チャ メー プラティ プラスターナシ チャ メー

śukraś-ca me manthī ca ma

シュックラシ チャ メー マンティー チャ マ

シュックラシ チャ メー マンティー チャ マ

āgrayaṇaś-ca me vaiśvadevaś-ca me

アーグラヤナシ チャ メー ヴァイシワデーヴァシ チャ メー

アーグラヤナシ¹ チャ メー ヴァイシ¹ヴァデーヴァシ¹ チャ メー

dhruvaś-ca me vaiśvānaraś-ca ma

ドゥルヴァシ チャ メー ヴァイシワーナラシ チャ マ

ド¹ルヴァシ¹ チャ メー ヴァイシ¹ヴァ¹ナーラシ¹ チャ マ

ṛtugrahāś-ca me'tigrāhyāś-ca ma

ルトウググラハーシ チャ メー ティグラーヒャーシ² チャ マ

ルト¹ウグ¹グラ¹ハーシ¹ チャ メー 'ティ¹グ¹ラー¹フ¹ヤー¹ニシ¹ チャ マ

aindrāgnaś-ca me vaiśva-devaś-ca me

アインドラ¹グナシ¹ チャ メー ヴァイシワ¹ デ¹ーヴァシ¹ チャ メー

アイン¹ドラ¹グ¹ナシ¹ チャ メー ヴァイシ¹ヴァ¹ デ¹ーヴァシ¹ チャ メー

marut-vaṭiyāś-ca me māhendraś-ca ma

マル(ト) ヴァ¹ティ¹ヤー¹ニシ¹ チャ メー マ¹ーヘ¹ン¹ドラシ¹ チャ マ

マル¹ト¹ ヴァ¹ティ¹ヤー¹ニシ¹ チャ メー マ¹ーヘ¹ン¹ドラシ¹ チャ マ

ādityaś-ca me sāvitraś-ca me

アー¹ディ¹ッティ¹ヤシ¹ チャ メー サ¹ー¹ヴィ¹ット¹ラシ¹ チャ メー

アー¹ディ¹ト¹ヤシ¹ チャ メー サ¹ー¹ヴィ¹ト¹ラシ¹ チャ メー

sārasvataś-ca me pauṣṇaś-ca me

サー¹ラ¹ッス¹ワ¹タシ¹ チャ メー パ¹ウ¹シ¹ナシ¹ チャ メー

サー¹ラ¹ス¹ヴァ¹タシ¹ チャ メー パ¹ウ¹シ¹ナシ¹ チャ メー

pātnīvaṭaś-ca me hāriyojanaś-ca me || 7 ||

パー(ト)ニ¹ー¹ヴァ¹タシ¹ チャ メー ハ¹ー¹リ¹ヨ¹ー¹ヂ¹ャ¹ナシ¹ チャ メー

パー¹ト¹ニ¹ー¹ヴァ¹タシ¹ チャ メー ハ¹ー¹リ¹ヨ¹ー¹ヂ¹ャ¹ナシ¹ チャ メー || 7 ||

idhmaś-ca me barhiś-ca me

イ(ド)マシ¹ チャ メー バ¹ル¹ヒシ¹ チャ メー

イ¹ド¹マシ¹ チャ メー バ¹ル¹ヒシ¹ チャ メー

vedīś-ca me dhiṣṇiyāś-ca me

ヴェ¹ー¹ディ¹シ¹ チャ メー デ¹ィ¹シ¹ニ¹ヤー¹シ¹ チャ メー

ヴェ¹ー¹ディ¹シ¹ チャ メー デ¹ィ¹シ¹ニ¹ヤー¹シ¹ チャ メー

srucaś-ca me camaśās-ca me

スルチャシ チャ メー チャマサーシ チャ メー

スルチャシ チャ メー チャマサーシ チャ メー

grāvāṇaś-ca me svarāvaś-ca ma

グラヴァーナシ チャ メー スワラヴァシ チャ マ

グラヴァーナシ チャ メー スヴァラヴァシ チャ マ

uparavās-ca me'dhiṣavaṇe ca me

ウパラヴァーシ チャ メー デイシャヴァネー チャ メー

ウパラヴァーシ チャ メー 'デイシャヴァネー チャ メー

dronakalaśaś-ca me vāyavyāni ca me

ドローナカラシャシ チャ メー ヴァーヤツヴィヤーニ チャ メー

ドローナカラシャシ チャ メー ヴァーヤツヴィヤーニ チャ メー

pūtabhṛc-ca ma ādhavanīyaś-ca ma

プータブルッ チャ マ アーダヴァニーヤシ チャ マ

プータブル(チ) チャ マ アーダヴァニーヤシ チャ マ

āgnīdhraṁ ca me havīrdhānaṁ ca me

アグニードラム チャ メー ハヴィルダーナム チャ メー

アグニードラム チャ メー ハヴィルダーナム チャ メー

grhās-ca me sadaś-ca me

グルハーシ チャ メー サダシ チャ メー

グルハーシ チャ メー サダシ チャ メー

purodāśāś-ca me pacatāś-ca me

プロダーシャーシ チャ メー パチャターシ チャ メー

プロダージャーシ チャ メー パチャターシ チャ メー

'vabhṛthaś-ca me svagākāraś-ca me || 8 ||

ヴァブルタシ チャ メー スワガーカーラシ チャ メー

'ヴァブルタシ チャ メー スヴァガーカーラシ チャ メー || 8 ||

agniś-ca me gharmaś-ca me

アグニシ チャ メー ガルマシ チャ メー

アグニシ チャ メー ガルマシ チャ メー

'rkaś-ca me sūryaś-ca me

ルカシ チャ メー スールヤシ チャ メー

'ルカシ チャ メー スールヤシ チャ メー

prāṇaś-ca me śvamedhaś-ca me

プラーナシ チャ メー シワメーダシ チャ メー

プラーナシ チャ メー 'シヴァメーダシ チャ メー

pr̥thivī ca me ditiś-ca me

プルティヴィー チャ メー デイティシ チャ メー

プルティヴィー チャ メー 'デイティシ チャ メー

ditiś-ca me dyauśca me

デイティシ チャ メー デイヤウシ チャ メー

デイティシ チャ メー 'ドヤウシ チャ メー

śakvarīraṅgulayo diśaś-ca me

シャクワリーラングラヨー デイシャシ チャ メー

シャクヴァリーラングラヨー デイシャシ チャ メー

yajñena kalpantām-ṛk-ca me

ヤグニエーナ カルパンターム ルク チャ メー

ヤグニエーナ カルパンターム ルク チャ メー

sāma ca me stomāś-ca me

サーマ チャ メー ストーマシ チャ メー

サーマ チャ メー 'ストーマシ チャ メー

yajuś-ca me dīkṣā ca me

ヤヂュシ チャ メー ディークシャー チャ メー

ヤヂュシ チャ メー ディークシャー チャ メー

tapāś-ca ma ṛtuś-ca me

タパシ チャ マ ルトゥシ チャ メー

タパシ チャ マ ルトゥシ チャ メー

vṛatāṁ ca me'horātrayōr-vṛṣṭyā bṛhadrathantāre ca me yajñenā
kalpetām || 9 ||

ヴラタム チャ メー ホーラートラヨーール ヴルシッティヤー

ブルハッドラタントレー チャ メー ヤグッニエーナ カルペーターム

ヴラタム チャ メー 'ホーラートラヨーール ヴルシッティヤー

ブルハッドラタントレー チャ メー ヤグニエーナ カルペーターム || 9 ||

garbhās-ca me vatsās-ca me

ガルバーシ チャ メー ヴァ(ト)サーシ チャ メー

ガルバーシ チャ メー ヴァトサーシ チャ メー

tryaviś-ca me tryavī-ca me

トゥルヤヴィシ チャ メー トゥルヤヴィー チャ メー

トゥルヤヴィシ チャ メー トゥルヤヴィー チャ メー

dityavāt ca me dityauhī ca me

ディッティヤヴァー(ト) チャ メー ディッティヤウヒー チャ メー

ディトヤヴァート チャ メー デイトヤウヒー チャ メー

pañcāviś-ca me pañcāvī ca me

パンチャーヴィシ チャ メー パンチャーヴィー チャ メー

パンチャーヴィシ チャ メー パンチャーヴィー チャ メー

trivatsaś-ca me trivatsā ca me

トリヴァ(ト)サシ チャ メー トリヴァ(ト)サー チャ メー

トリヴァトサシ チャ メー トリヴァトサー チャ メー

turyavāt ca me turyauhī ca me

トゥルヤヴァー(ト) チャ メー トゥルヤウヒー チャ メー

トゥルヤヴァート チャ メー トゥルヤウヒー チャ メー

paṣṭhavāt ca me paṣṭhauhī ca ma

パシタヴァー(ト) チャ メー パシタウヒー チャ マ

パシタヴァート チャ メー パシタウヒー チャ マ

ukṣā ca me vaśā ca ma

ウクシャー チャ メー ヴァシャー チャ マ

ウクシャー チャ メー ヴァジャー チャ マ

r̥ṣabhaś-cā me vehac-cā me

ルシヤバシ チャ メー ヴェーハッ チャ メー

ルシヤバシ チャ メー ヴェーハ(チ) チャ メー

'naḍvāñ-cā me dhenuś-cā ma

ナッドワーン チャ メー デーヌシ チャ マ

'ナド・ヴァーン チャ メー デーヌシ チャ マ

āyūr-yajñenā kalpatām prāṇo yajñenā kalpatām-

アーユル ヤッグニェーナ カルパターム プラーノー ヤッグニェーナ カルパター

アーユル ヤヂネーナ カルパターム プラーノー ヤヂネーナ カルパター

apāno yajñenā kalpatām vyāno yajñenā kalpatām

マパーノー ヤッグニェーナ カルパターム

ヴヤーノー ヤッグニェーナ カルパターム

マパーノー ヤヂネーナ カルパターム

ヴヤーノー ヤヂネーナ カルパターム

cakṣur-yajñenā kalpatāgm̄ śrotrām̄ yajñenā kalpatām̄

チャックシユル ヤッグニェーナ カルパターグム

シロートラム ヤッグニェーナ カルパターム

チャクシユル ヤヂネーナ カルパターグム

シロートラム ヤヂネーナ カルパターム

manó yajñenā kalpatām̄ vāg-yajñenā kalpatām-

マノー ヤッグニェーナ カルパターム ヴァー(グ) ヤッグニェーナ カルパター

マノー ヤヂネーナ カルパターム ヴァーグ ヤヂネーナ カルパター

ātmā yajñenā kalpatām̄ yajño yajñenā kalpatām̄ || 10 ||

マートマー ヤッグニェーナ カルパターム

ヤッグニョー ヤッグニェーナ カルパターム

マートマー ヤヂネーナ カルパターム

ヤヂノー ヤヂネーナ カルパターム || 10 ||

ekā ca me tisraś-cā me

エーカー チャ メー ティスラシ チャ メー

エーカー チャ メー ティスラシ チャ メー

pañcā ca me sapta cā me

パンチャ チャ メー サプタ チャ メー

パン^ンチャ チャ メー サ^ンプタ チャ メー

navā ca mā ekā-daśa ca me

ナヴァ チャ マ エーカー ダシャ チャ メー

ナ^ンヴァ チャ マ エー^ンカー ^ンダ^ンシャ チャ メー

trayo-daśa ca me pañcā-daśa ca me

トラヨー ダシャ チャ メー パンチャ ダシャ チャ メー

ト^ンラ^ンヨー ^ンダ^ンシャ チャ メー ^ンパン^ンチャ ^ンダ^ンシャ チャ メー

sapta-daśa ca me navādaśa ca mā

サプタ ダシャ チャ メー ナヴァダシャ チャ マ

サ^ンプ^ンタ ^ンダ^ンシャ チャ メー ^ンナ^ンヴァ^ンダ^ンシャ チャ マ

ekā-vigñśatīś-ca me trayo-vigñśatīś-ca me

エーカ ヴィグムシャティシ チャ メー トラヨー ヴィグムシャティシ チャ メー

エー^ンカ ^ンヴィ^ング^ンム^ンシャ^ンティ^ンシ^ン チャ^ン メー^ン ト^ンラ^ンヨー ^ンヴィ^ング^ンム^ンシャ^ンティ^ンシ^ン チャ^ン メー^ン

pañcā-vigñśatīś-ca me sapta-vigñśatīś-ca me

パンチャ ヴィグムシャティシ チャ メー サプタ ヴィグムシャティシ チャ メー

パン^ンチャ ^ンヴィ^ング^ンム^ンシャ^ンティ^ンシ^ン チャ^ン メー^ン

サ^ンプ^ンタ ^ンヴィ^ング^ンム^ンシャ^ンティ^ンシ^ン チャ^ン メー^ン

navā-vigñśatīś-ca mā ekā-trigñśac-ca me

ナヴァ ヴィグムシャティシ チャ マ エーカ トリグムシャッ チャ メー

ナ^ンヴァ ^ンヴィ^ング^ンム^ンシャ^ンティ^ンシ^ン チャ^ン マ^ン エー^ンカ ^ント^ンリ^ング^ンム^ンシャ^ン(^ンチ) ^ンチャ^ン メー^ン

trayas-trigñśac-ca me catasraś-ca me

トラヤス トリグムシャッ チャ メー チャタスラシ チャ メー

ト^ンラ^ンヤ^ンス ^ント^ンリ^ング^ンム^ンシャ^ン(^ンチ) ^ンチャ^ン メー^ン ^ンチャ^ンタ^ンス^ンラ^ンシ^ン ^ンチャ^ン メー^ン

'ṣṭau cā me dvā-daśa ca me

シタク チャ メー ドワー ダシャ チャ メー

'^ンシ^ンタ^ンウ^ン ^ンチャ^ン メー^ン ^ンド^ンヴァ^ンー ^ンダ^ンシャ ^ンチャ^ン メー^ン

ṣoḍaśa ca me vigñśatīś-ca me

シヨードシャ チャ メー ヴィグムシャティシ チャ メー

シ^ンヨ^ンー^ンダ^ンシャ ^ンチャ^ン メー^ン ^ンヴィ^ング^ンム^ンシャ^ンティ^ンシ^ン ^ンチャ^ン メー^ン

catūr-vigṁśatīś-ca me'ṣṭā-vigṁśatīś-ca me

チャトウル ヴィグムシャティシ チャ メー シター ヴィグム シャティシ チャ メー
チャトウル ヴィグムシャティシ チャ メー

'シター ヴィグム シャティシ チャ メー

dvā-trigṁśac-ca me ṣaṭ-trigṁśac-ca me

ドワー トリグムシャツ チャ メー シャ(ト) トリグムシャツ チャ メー
ドヴァー トリグムシャ(チ) チャ メー

シャ(ト) トリグムシャ(チ) チャ メー

catvārigṁśac-ca me catuś-catvārigṁśac-ca me

チャットワーリグムシャツ チャ メー チャトウシ チャットワーリグムシャツ チャ メー
チャトヴァーリグムシャ(チ) チャ メー

チャトウシ チャトヴァーリグムシャ(チ) チャ メー

'ṣṭācatvārigṁśac-ca me vājaś-ca prasavaś-cā

シターチャットワーリグムシャツ チャ メー ヴァーチャシ チャ プラサヴァシ チャー
'シターチャトヴァーリグムシャ(チ) チャ メー

ヴァーチャシ チャ プラサヴァシ チャー

pījaśca kratuśca suvaśca mūrdhā ca

ピチャシ チャ クラトウシ チャ スヴァシ チャ ムールダー チャ

ピチャシ チャ クラトウシ チャ スヴァシ チャ ムールダー チャ

vyaśni-yaścā'ntyāyanaścāntyaś-ca bhauvaśca

ヴィヤシニ ヤシ チャー ンッティヤーヤナシ チャーニッティヤシ

チャ バウヴァナシ チャー

ヴァシニ ヤシチャー 'ントヤーヤナシ チャーントヤシ

チャ バウヴァナシ チャ

bhuvanaścādhīpatiś-ca || 11 ||

ブヴァナシ チャー ディパティシ チャ

ブヴァナシチャー ディパティシ チャ || 11 ||

iḍā deva-hūrmanūr-yajñanīr-brhaspatir-ukthāmadāni

イダー デーヴァフルマヌルヤグニヤニール ブルハスパティルクターマダーニ

イダー デーヴァ フールマヌル ヤグニニール

ブルハスパティルクターマダーニ

śagmsiṣad-viśvé devāḥ sūkta-vācaḥ pṛthivī-mātarmā mā higm-sīr-

シャグムスイシャツ(ド) ヴィシヴェー デーヴァー(ツ) スーークタ

ヴァーチャ(ツ) プルティヴィー マータルマー マー ヒグム スィール

シャグムスイシャド ヴィシヴェー デーヴァー(ハ) スー=クタ

ヴァーチャ(ハ) プルティヴィー マータルマー マー ヒグム スィール

madhu maṇiṣye madhu janiṣye madhu vakṣyāmi madhu

vadiṣyāmi

マドゥ マニッシェー マドゥ チャニッシェー

マドゥ ヴァクシヤーミ マドゥ ヴァディッシヤーミ

マドゥ マニシエー マドゥ チャニシエー

マドゥ ヴァクシヤーミ マドゥ ヴァディッシヤーミ

madhumatīm devebhyo vācamudyāsagm-śuśrūṣeṇyām

maṇuṣyēbhyastam mā devā avantu

マドゥマティーム デーヴェービョー ヴァーチャムッディヤーサグム

シュッシルーシェーンニャーーム マヌッシェー=ビヤスタム マー

デーヴァー アヴァントゥ

マドゥマティーム デーヴェー=ビョー ヴァーチャムドヤーサグム

シュッシルーシェーンヤー=ム マヌシエー=ビヤスタム マー

デーヴァー アヴァントゥ

śobhāyai pitaro'numadantu ||

ショーバーヤイ ピタロー ヌマダントゥ

ショーバーヤイ ピタロー 'ヌマダントゥ ||

om śāntiḥ śāntiḥ śāntiḥ ||

オーム シャーンティッ シャーンティッ シャーンティヒ

オーム シャーンティ(ヒ) シャーンティ(ヒ) シャーンティヒ ||

《解説》

チャマカムは、クリシュナ ヤジュルヴェーダのタイティリーヤ サムヒターに収められているマントラで、「チャマカム」という呼び名は、“チャ メー”（「〇〇も私のものにして下さい」とか「〇〇もまた私である」の意味）という言葉が全部で338回繰り返されていることに由来しています。スワミは、「ナマカムは私たちが退けるべきものを教え、チャマカムは、私たちが望むべきものを教える」と仰っています。私たちは、神様に何をお願いするのが正しいのかわかりません。例えば神様が、「願いをかなえてあげるから、望みのものを言いなさい」と仰って下さっても、何を言ってよいか分からなかったり、誤った願いを口にしたければ、せっかくの機会が無駄になってしまいます。

第1アヌヴァーカの要約（肉体と心のアヌヴァーカ）

第1アヌヴァーカは、優雅に老い長寿に恵まれる健康な身体と、肉体を養うことのできる豊かさを祈り求めます。また、内側から肉体を元気に保つ活力と、鋭く働く感覚器官を求め、立派な意図を持った心とヴェーダの学習を求めます。それはまた、肉体的・精神的な全方面にわたる健康を求め、内なる魂の喜びを明らかにする内的な啓示を求めます。

「肉体は、ダルマを行うことを主目的として授けられている」という太古の格言があります。ダルマとは、真我の知識のことです。健康な身体がなければ、この世のすべての富は何の役にも立ちません。健康な身体は、人が楽しみ、社会的な生活を送り、他者を助け、真我の英知を獲得することを助けます。

第2アヌヴァーカの要約（生气と肉体、生气による獲得のアヌヴァーカ）

ここでは、第1アヌヴァーカによって得られた力を使って到達すべき目標が強調されています。第2アヌヴァーカに示された目標は、主に生气のエネルギーが卓越したものになることによって獲得できるものです。多くの人から認められること、恩恵を授ける力、内外両面の輝き、多くの、発明工夫の才能、善い思い…これらのものは、卓越した生气のエネルギーを備えた者のみが手に入れることのできるものです。これらの一部分のみを持っている人は数多くいますが、これをすべて持っている人は非常にまれです。

第3アヌヴァーカの要約 (心の力に関するアヌヴァーカ)

これらはサーダカ(霊性修行者)が獲得すべき心の力です。これらの心の力は、物質次元における善悪の識別と、霊的次元における一時的なものと永遠のものとの識別を助けます。これらの資質はまた、様々な霊的な道进行评估して、自分の気質に最も適した道を選択する際に必要です。“シレーヤハ”と“バガハ”は、聖者や預言者やアヴァターに關係する神聖な特質です。また、非常に重要なのは、隠れた真理を掘り起こすことに関する特質です。次に、掘り起こした真理を効果的に伝える、教師としての能力が重要です。創造の根底にある宇宙のリズムを受け入れて、それに応じて生活することは、健康につながります。霊的な旅をするものにとって、不屈の精神と寛容は、それ自身が最高の薬である深い眠りと共に、欠かせないものです。“マヤハ”(対象物と精神的にひとつになる力)と“ラヤハ”隠れていた真理とひとつになる能力も、霊的な旅路の果てに、唯一無二の存在に融合するために欠かせない特質として言及されています。

第4アヌヴァーカの要約 (心身を養う)

この章は日々の生活に必要な「エネルギー」から始まります。それから、様々なエネルギー源を上げています。この章は、それらのエネルギー源が豊かであることを祈り、様々な種類の食物が列挙されています。またそれは、決して空腹(アックシュット)になることのない状態と、日々の必需品が決して枯渇することのない状態(アックシティ)を祈り求めます。私たちはここから、より多くの人々と共に食べたり飲んだりする方が、心身の栄養を摂取するに当たって、より気分が高揚するものであるというメッセージを受け取ります。食べたり飲んだりする、エネルギーを取り込む行為のすべては、優しく心地よい話し方と共に行われるべきものであり、それは、心に入る食物の微細な部分に、間違いなく影響を及ぼすこととなります。

第5アヌヴァーカの要約

第5アヌヴァーカは、すべての物質的なものが、利己的ではない形で、繁栄の内に生きることを祈り願います。裕福な人々が、自分の時間と富を、社会的に有意義な仕事に注ぐこと(“ヤッグニューナ カルパンターム”)によって、崇高で寛大な手本を示します。それはまた、世界の幸せのために、多大な富を使って大きなヴェーダの供犠を行う意味も含んでいます。

第6 アヌヴァーカの解説

この章では、礼拝者は、祝福を受けるため、さらには天界の神々に到達するために祈ります。それぞれの神は、自然界という内閣の、雨を降らせたり、作物の成長を司ったりといった、様々な権限を持った省庁や大臣にたとえられ、それらは私たちの内にある微細なエネルギーや特質を表しています。それぞれの神に祈りが捧げられる度に、識別智を授けるインドラ神(首相に相当する)にも祈りが捧げられています。感覚器官は、天界の大臣たちである神々の現れです。感覚器官をコントロールすることは不可能に近いほど困難な仕事です。感覚をコントロールできる人は、天界の神々の王インドラに匹敵します。参考として、各節の最後に、神々と自然界の力や働きに呼応する、人間の中の部分や機能、特質等やが紹介されています。

第6 アヌヴァーカの要約

人は、外界の省庁や大臣の職務に焦点を当てるのではなく、肉体の中に住む「内なる神々」を規制することに焦点を当てるべきです。それこそが「インドラ神」、すなわち体の感覚を管理する主になる方法です。そのような「コントロールの大家」は、望みさえすれば、どこでもいつでも、意のままに雨を降らすこともできます。